

県営住宅大西町団地（第1期）

施設概要

事業主体：山形県

施設名称：県営住宅大西町団地（第1期）

所在地：鶴岡市大西町 21-30

用途：集合住宅



《外観写真》

●施設の特徴、内容

旧県営大西町団地は昭和 38・39 年に建設されたもので、耐震診断の結果早急に建替が必要とされた。その建替にあたって、「入居者の安全・安心の確保」「地場産業の活性化による景気・雇用対策」「県産木材使用住宅の普及促進」の 3 つの目的をもって建替えの実施を行ったものである。

目的の達成にあたり、木造で建替えを行ったことにより、「大工・工務店及び林業・木材産業などの活性化及び後継者の育成」「森林整備への寄与」「地球温暖化防止への貢献」など多くの効果を期待できる計画となった。

●設計における工夫点

第 1 期工事では、3 棟に分けて計 8 戸の住宅を建てた。部屋の間取りは 2DK と 3DK があり、すべての棟に付属しているデッキにはスロープで上ることができる。

第 2 期工事ではメゾネットの間取りも計画し多様な住環境の提案を試みた。

また、施設の省エネルギー化やバリアフリーに関しても考慮して設計を行った。



鳥瞰パース

■建物情報

階数：地上 1 階・地上 2 階

構造：木造

小屋組方式：和風小屋組

敷地面積：2118.14 m²（第 1 期工事分）

延床面積：482.34 m²

最高軒高：7.08 m

最高高さ：8.782m

耐火・準耐火：その他の建築物

■主要仕上

外部仕上

（屋根）：日本瓦葺き

（外壁）：t14mm 窯業系サイディング + 外装薄塗材 E 塗

一部 t14mm 窯業系サイディング + t15mm 杉板張り、木材保護着色塗料塗

（開口部）：アルミサッシ

（その他）：化粧付柱：杉張り 木材保護着色塗料塗

内部仕上

（床）：t15mm 無垢材（単層）フローリング

（壁）：ビニルクロス張り、一部杉横格子張り

（天井）：ビニルクロス張り、一部 t12mm 杉板張り



《洋間》

《使用木材》



杉 105.0 m³、唐松 4.8 m³
計 110.0 m³【県産木材 110.0 m³】

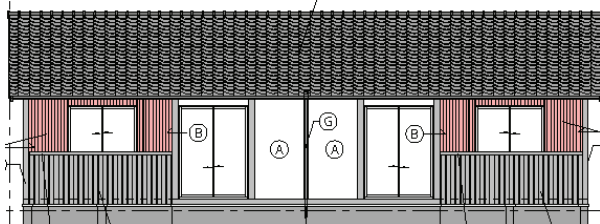
●省エネ、環境負荷低減への工夫点

木造住宅は鉄筋コンクリート住宅に比べ、材料生産時の二酸化炭素放出量が 1/4 であり、使用される木材によって保管される炭素（炭素貯蔵量）が 4 倍になるとされている。また、間伐材として算出した場合、本団地を木造で建替えることにより約 20ha の森林整備に寄与する効果がある。



《軸組み状況》

立面図（平屋、2DK）



●木造を採用した理由

木造住宅建設は、使用材料が多種多様にわたることから多くの産業部門への経済波及効果があり特に地域産業への波及が大きいとされている。そこで、大西町団地の建替えを行うにあたって木造で建設することにより、地場産業の大工・工務店及び林業・木材産業の活性化を図ることとした。

県産木材を利用することで県産木材の良さをPRし、県産木材使用住宅の普及・促進を図った



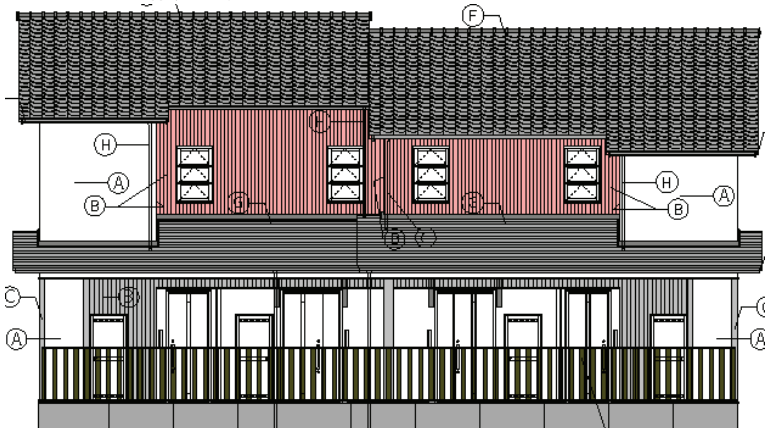
《和室》

●木材使用による効果

軸組み及び内部仕上げ材に木材を使用することにより、木材のあたたかさによる癒し効果や、調湿・吸音効果など心身の健康維持や潤いのある生活環境を目指した。

県産木材を活用する際に、県内の地域それぞれの特性を考慮して建物の各部位に使用するようにした。

立面図（二階建て、3DK）



■事業概要

設計者：株式会社 秦・伊藤設計
施工者：(建築) 株式会社 マルゴ
(電気) 大同電気 株式会社
(機械) 加藤建設管工 株式会社
工期：平成 22 年 6 月～平成 23 年 2 月

設計費： 9,450 千円
建設費：(建築) 83,086 千円
(電気) 8,355 千円
(機械) 12,492 千円
(合計) 103,933 千円
1 m²あたりの建設費： 216 千円